

# 平成 27 年度 第 2 回水道事業経営審議会

## 次 第

日時 平成 28 年 3 月 22 日(火) 15:00～

場所 新潟市水道局研修センター 2 階

### 1 開会

- (1) 委嘱状交付
- (2) 水道事業管理者あいさつ
- (3) 委員紹介

### 2 議事

- (1) 会長・副会長の選任
- (2) 平成 28 年度当初予算について
- (3) 新・マスタープランの評価方法について

## 平成27年度 第2回経営審議会 議題及び資料

### 1 会長・副会長の選任

- (1) 新潟市水道事業経営審議会委員名簿 . . . . . 資料1

### 2 平成28年度当初予算について

- (1) 平成28年度 当初予算事業説明書 . . . . . 資料2

### 3 新・マスタープランの評価方法について

- (1) 新・マスタープラン評価概要 . . . . . 資料3-1
- (2) 新・マスタープラン事業評価管理シート . . . 資料3-2
- (3) 新・マスタープラン評価方法 . . . . . 資料3-3
- (4) 一次評価結果集計表 . . . . . 資料3-4

## 新潟市水道事業経営審議会委員名簿

(任期：平成 27 年 10 月 1 日～29 年 9 月 30 日)

※ 50 音順，敬称略

氏 名	肩 書
あへ 阿部 あゆみ 鮎美	公募委員
いしもと 石本 あやこ 亜弥子	公募委員
おおかわ 大川 ひでお 秀雄	放送大学新潟学習センター 所長 特任教授
おおぬき 大貫 みねお 三子男	公益社団法人 日本水道協会 総務部長
きむら 木村 ゆみ 由美	新潟商工会議所 女性会 理事
こばやし 小林 みつお 満男	新潟国際情報大学 情報文化学部 情報システム学科教授
しなだ 品田 ヒサエ	水質モニター
たかはし 高橋 しんた 信太	高橋公認会計士事務所 公認会計士・税理士
はせがわ 長谷川 ふみこ 文子	新潟市消費者協会新潟支部 理事
わたなべ 渡辺 かすのり 和憲	一般財団法人 新潟経済社会リサーチセンター 理事

※ 品田委員の任期は平成 26 年 8 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日

平成28年度

当初予算事業説明書

水道局

# 予 算 の 概 要

## 1 業務の予定量

・給水戸数	320,700 戸	前年度比	3,400 戸	101.1%
・年間配水量	100,815,000 m <sup>3</sup>	前年度比	△ 2,197,000 m <sup>3</sup>	97.9%
・年間給水量	95,270,000 m <sup>3</sup>	前年度比	△ 1,973,000 m <sup>3</sup>	98.0%
・有収率	94.5 %	前年度比	0.1 P	

## 2 予算規模及び予算の概要

(1) 総事業費 (単位 千円)

28年度 A	27年度 B	前年度比	
		A-B	A/B
26,560,239	27,107,242	△ 547,003	98.0%

(2) 収益的収入及び支出 (単位 千円)

	28年度 A	27年度 B	前年度比	
			A-B	A/B
事業収益	17,410,797	17,596,423	△ 185,626	98.9%
営業収益	15,667,554	15,782,897	△ 115,343	99.3%
営業外収益	1,460,871	1,386,683	74,188	105.4%
特別利益	282,372	426,843	△ 144,471	66.2%
事業費	15,330,654	15,825,607	△ 494,953	96.9%
営業費用	13,785,902	14,132,634	△ 346,732	97.5%
営業外費用	1,128,318	1,230,909	△ 102,591	91.7%
特別損失	411,434	457,064	△ 45,630	90.0%
予備費	5,000	5,000		100.0%
差引 (当年度純利益)	2,080,143 ( 1,523,111 )	1,770,816 ( 1,183,194 )		

(3) 資本的収入及び支出 (単位 千円)

	28年度 A	27年度 B	前年度比	
			A-B	A/B
資本的収入	3,929,603	3,635,918	293,685	108.1%
企業債	3,170,000	2,482,000	688,000	127.7%
国庫補助金	145,324	189,734	△ 44,410	76.6%
出資金	244,000	259,000	△ 15,000	94.2%
固定資産売却代金	1	1		100.0%
消火栓設置負担金	66,778	87,683	△ 20,905	76.2%
補償金	303,500	617,500	△ 314,000	49.1%
資本的支出	11,229,585	11,281,635	△ 52,050	99.5%
建設改良費	8,347,153	8,302,033	45,120	100.5%
企業債償還金	2,852,432	2,979,602	△ 127,170	95.7%
投資	30,000		30,000	皆増
差引	△ 7,299,982	△ 7,645,717		

資本的収支不足額 7,299,982 千円は、

- |                         |                      |
|-------------------------|----------------------|
| ① 当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額 | 575,913 千円           |
| ② 当年度損益勘定留保資金           | 4,293,609 千円         |
| ③ 建設改良積立金               | 2,430,460 千円 で補てんする。 |

### 3 主な事業計画

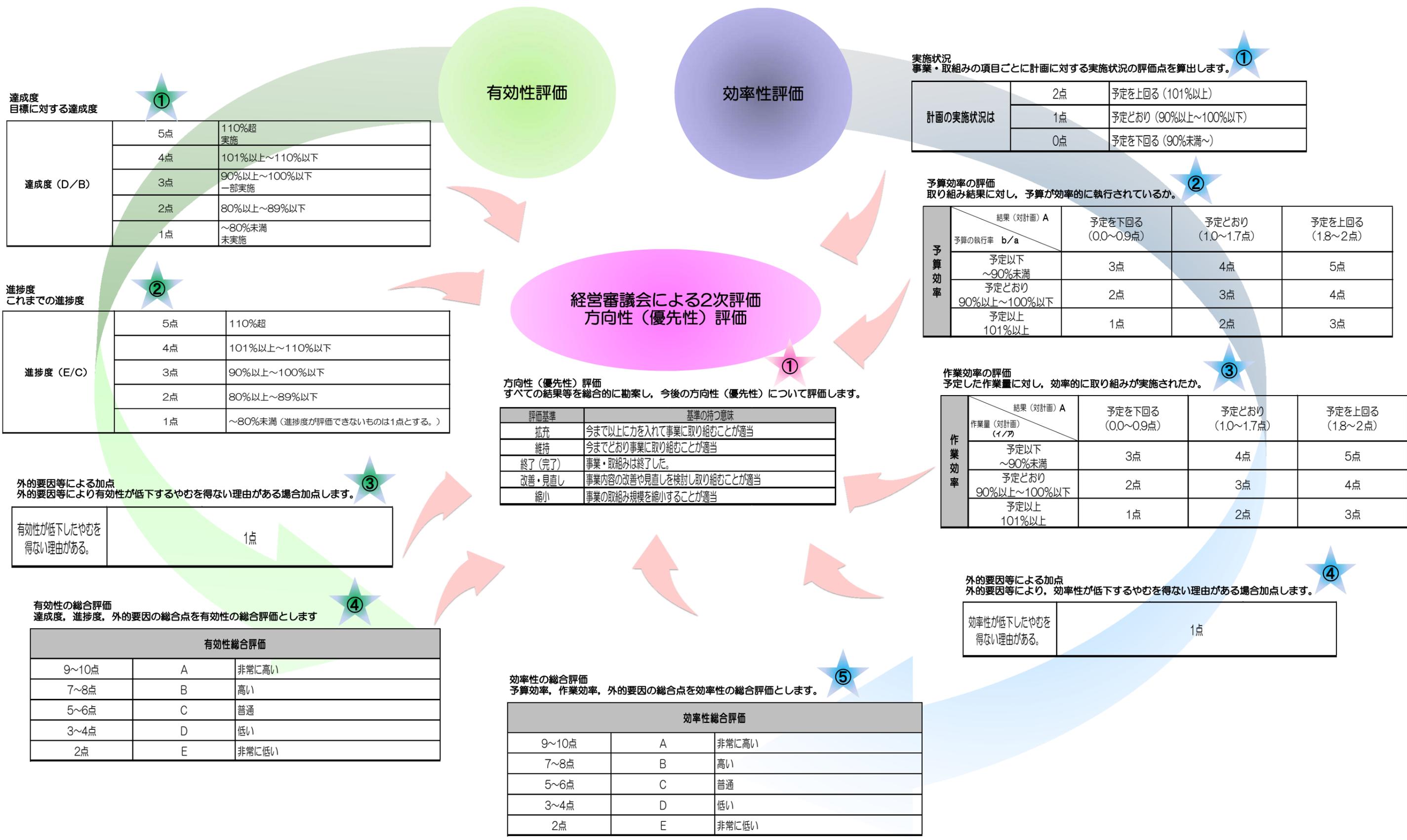
(単位 千円)

施策等		事業費	事業の概要
安全	水質管理の充実・強化	56,628	○ 水質管理体制の強化 56,628 <ul style="list-style-type: none"> <li>・水質検査機器の適切な維持管理</li> <li>・水質検査機器の計画的更新及び整備</li> </ul>
強靱	浄配水施設の計画的更新及び災害対策	1,766,074	○ 阿賀野川浄水場施設整備事業 775,440 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンプ棟築造</li> <li>・洗浄水槽耐震補強</li> <li>・配水池1・2号耐震補強</li> </ul> ○ 配水場施設整備事業 63,180 <ul style="list-style-type: none"> <li>・配水ポンプインバータ更新(内野配水場)</li> </ul> ○ 浄配水施設の更新及び整備 925,892 <ul style="list-style-type: none"> <li>・5～8号ろ過池電動弁更新(阿賀野川浄水場)</li> <li>・排水池電気設備更新(満願寺浄水場)</li> <li>・天日乾燥床築造(満願寺浄水場)</li> <li>・天日乾燥床電気設備(満願寺浄水場)</li> </ul> ほか  ○ 応急給水設備の整備 1,562 <ul style="list-style-type: none"> <li>・応急給水設備設置(戸頭浄水場)</li> </ul>
	管路施設の計画的更新及び災害対策	4,975,130	○ 基幹管路更新事業 2,220,480 <ul style="list-style-type: none"> <li>・φ500 ～ φ700 L = 4,190 m</li> </ul> ○ 基幹管路整備事業 306,720 <ul style="list-style-type: none"> <li>・φ300 ～ φ500 L = 640 m</li> </ul> ○ 配水支管更新事業 2,447,930 <b>【老朽管更新】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・φ50 ～ φ300 L = 11,328 m</li> </ul> <b>【重要施設向け配水管の耐震化】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・φ100 ～ φ300 L = 1,590 m 行政機関2施設 医療機関1施設</li> </ul> <b>【鉛給水管更新】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・φ50 L = 3,813 m 460件更新</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>*上記事業の枠外での戸別更新 790件</li> </ul> ○ 配水管網のブロック化の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・5小ブロック構築</li> </ul> 《参考:基幹管路耐震適合率》 27年度末見込:58.4%⇒28年度末見込:59.3%

(単位 千円)

施策等		事業費	事業の概要	
持続	戦略的な広報及び お客さま, 有識者等 の意見・要望の把握	45,065	○ 戦略的な広報の実施	42,494
			○ お客さまアンケート調査の実施	1,528
			○ 水道モニター制度の運用	470
			○ 水道事業経営審議会の効果的運用	573
	放射性物質を含む 浄水汚泥の適切な 管理と情報提供	404,829	○ 放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理	404,829
	技術・知識を有する 人材の確保と育成	3,673	○ 各種研修の実施	3,673

# 新・マスタープラン評価概要



① 達成度  
目標に対する達成度

達成度 (D/B)	5点	110%超 実施
	4点	101%以上~110%以下
	3点	90%以上~100%以下 一部実施
	2点	80%以上~89%以下
	1点	~80%未満 未実施

② 進捗度  
これまでの進捗度

進捗度 (E/C)	5点	110%超
	4点	101%以上~110%以下
	3点	90%以上~100%以下
	2点	80%以上~89%以下
	1点	~80%未満 (進捗度が評価できないものは1点とする。)

③ 外的要因等による加点  
外的要因等により有効性が低下するやむを得ない理由がある場合加点します。

有効性が低下したやむを得ない理由がある。	1点
----------------------	----

④ 有効性の総合評価  
達成度、進捗度、外的要因の総合点を有効性の総合評価とします

有効性総合評価		
9~10点	A	非常に高い
7~8点	B	高い
5~6点	C	普通
3~4点	D	低い
2点	E	非常に低い

有効性評価

効率性評価

経営審議会による2次評価  
方向性（優先性）評価

① 方向性（優先性）評価  
すべての結果等を総合的に勘案し、今後の方向性（優先性）について評価します。

評価基準	基準の持つ意味
拡充	今まで以上に力を入れて事業に取り組むことが適当
維持	今までどおり事業に取り組むことが適当
終了(完了)	事業・取組みは終了した。
改善・見直し	事業内容の改善や見直しを検討し取り組むことが適当
縮小	事業の取組み規模を縮小することが適当

⑤ 効率性の総合評価  
予算効率、作業効率、外的要因の総合点を効率性の総合評価とします。

効率性総合評価		
9~10点	A	非常に高い
7~8点	B	高い
5~6点	C	普通
3~4点	D	低い
2点	E	非常に低い

① 実施状況  
事業・取組みの項目ごとに計画に対する実施状況の評価点を算出します。

計画の実施状況は	2点	予定を上回る (101%以上)
	1点	予定どおり (90%以上~100%以下)
	0点	予定を下回る (90%未満~)

② 予算効率の評価  
取り組み結果に対し、予算が効率的に執行されているか。

予算効率	結果 (対計画) A			
	予算の執行率 b/a	予定を下回る (0.0~0.9点)	予定どおり (1.0~1.7点)	予定を上回る (1.8~2点)
予算効率	予定以下 ~90%未満	3点	4点	5点
	予定どおり 90%以上~100%以下	2点	3点	4点
	予定以上 101%以上	1点	2点	3点

③ 作業効率の評価  
予定した作業量に対し、効率的に取り組みが実施されたか。

作業効率	結果 (対計画) A			
	作業量 (対計画) (1/A)	予定を下回る (0.0~0.9点)	予定どおり (1.0~1.7点)	予定を上回る (1.8~2点)
作業効率	予定以下 ~90%未満	3点	4点	5点
	予定どおり 90%以上~100%以下	2点	3点	4点
	予定以上 101%以上	1点	2点	3点

④ 外的要因等による加点  
外的要因等により、効率性が低下するやむを得ない理由がある場合加点します。

効率性が低下したやむを得ない理由がある。	1点
----------------------	----

【記載例】

新・マスタープラン事業評価管理シート

施策	IV	震災対策・体制の強化	事業・取組名	5	事故・災害時における復旧体制の強化	所管課	経営管理課
----	----	------------	--------	---	-------------------	-----	-------

①事業概要

【事業の目的】	事故・災害時などの非常時において、迅速かつ的確に応急給水する体制や、水道施設を早期に復旧する体制の強化を図るとともに、応急給水設備の整備や、給水や復旧に係る各種災害協定や関係団体・地域住民との連携の強化などを図ります。		
【取組内容と計画】 「事業・取組み」の内容と計画(予定)	27年度 各種災害時マニュアルの更新 各種災害時マニュアル・計画等の見直し、拡充および訓練の実施をします。 応急給水設備の整備 満願寺浄水場の給水車用常設注水設備、住民用応急給水設備の整備を行います。 災害時の協力体制および連携体制の充実 ・お客さまコールセンターとの災害時連携体制強化のため協力体制の検討・構築をします。 ・協力体制構築に向けた市長部局との協議をします。 ・災害時支援協力員や地域住民との応急給水訓練の実施。	28年度	29年度

②過程

【予算・決算額】 費用はどれくらいかけたか	年度	27年度			28年度			29年度		
	予算額(a)	102,000,000								
	執行額(b)	100,000,000								
	執行率(%) (b) / (a)	98.0%			#DIV/0!			#DIV/0!		
【時間・体制(人員)】 時間(人員)はどれくらいかけたか	年度	目標	27年度	対目標	目標	28年度	対目標	目標	29年度	対目標
	総作業量(c)	120時間	120時間	100%						
	(実働時間)									
	期間(d)	12ヶ月	12ヶ月							
	(実働月数)									
単位あたりの作業量(c/d)	10時間	10時間								
	(1人あたりの年間の作業時間)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)	(ア)	(イ)	(イ/ア)

③所管課分析評価

■結果・効果

【実施結果・効果】 事業・取組の結果は	26年度実績	27年度			28年度				29年度					
	・各マニュアルの見直しを行いました。 ・応急給水設備の整備、更新(青山浄水場、秋葉配水場、金津配水場)を行いました。 ・岡山市水道局と災害時燃料供給の相互協力に関する覚書を締結しました。 ／公益財団法人新潟水道サービスと災害時等における応急対策委託業務に関する協定書を締結しました。	各種災害時マニュアルの更新 各マニュアル等の見直しを行い充実を図りました。(危機事象対応マニュアル、事業継続計画(BCP)) 応急給水設備の整備 満願寺浄水場の給水車用常設注水設備、住民用応急給水設備が完了し体制強化が図られました。 災害時の協力体制および連携体制の充実 ・お客さまコールセンターとの災害時連携体制強化のため他事業者の調査及び検討を行いました。 ・市長部局との協議を行いました。(備蓄食料、web会議、気象情報) ・応急給水訓練実施(南区2箇所、江南区、1箇所)												
		★ ①	予定を上回る 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	予定を下回る 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~		上昇 101%以上	予定どおり 90%~ 100%以下	減少 90%未満~	
	各種災害時マニュアルの更新			1点										
	応急給水設備の整備			1点										
	災害時の協力体制および連携体制の充実		1点											
	平均(A)	1.0点			平均(A)					平均(A)				

評価指標	目標			27年度			28年度			29年度		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
各種マニュアルの作成・見直し	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	実施	実施	実施	実施	5点							
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
給水車用常設注水設備の整備	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	1箇所	—	—	1箇所(満願寺)	100.0%	3点						
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)	0点	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
住民用応急給水設備の整備	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	1箇所(満願寺)	1箇所(戸頭)	1箇所(巻)	1箇所(満願寺)	100.0%	3点						
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	
	目標(B)	目標(B)	目標(B)	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点	実績(D)	達成度(D/B)	外的要因 加点
	目標累計(C)	目標累計(C)	目標累計(C)	実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)		実績累計(E)	進捗度(E/C)	

■評価結果

所管評価	27年度			28年度			29年度		
【効率性評価】 事業・取組の実施効率を評価する。	<p>予算の執行額については、協力体制強化のためコールセンターの業務委託を検討していましたが、仕様書の見直し等により体制強化が図られるため、執行予算が不要となりました。 対計画、対予算ともに、目標どおり達成しました。今後も、タイムコストを意識し低減に努めます。</p>								
評価結果	② 予算効率	3点	総合評価	⑤ 作業効率性	点	総合評価	作業効率性	点	総合評価
評価の観点・結果	③ 作業効率	3点	C	④ 予算執行率	点	点	⑥ 予算執行率	点	点
	④ 外的要因加点	0点	6点/10点	⑦ 実施方法	点	点/10点	⑧ 実施方法	点	点/10点
【有効性評価】 事業・取組が目標等を達成するために有効であったか評価する。	<p>各マニュアルの見直し、応急給水設備の整備を実施し、事故、災害時等における体制強化を図ることができました。また、コールセンターとの協力体制構築については、他事業体の調査結果、現状の業務状況から、今後、仕様書の見直し、調整が必要となるため、来年度以降に体制を構築することとしました。今後も、新たな体制強化方法を検討しながら拡充を図っていきます。</p>								
評価結果	達成度	4点	総合評価	④ 達成度	点	総合評価	達成度	点	総合評価
評価の観点・結果	進捗度	2点	C	⑤ 進捗度	点	点	⑥ 進捗度	点	点
	外的要因加点	0点	6点/10点	⑦ 実施方法	点	点/10点	⑧ 実施方法	点	点/10点

④2次評価結果

	経営審議会総評	経営審議会総評	経営審議会総評
【方向性】	①		

## 新・マスタープラン評価方法

## 1. 1次評価・・・事務事業所管課(内部部局各課)・経営層による分析・評価

■ 効率性評価…当該事業・取組みが、コストに見合った結果が出ているか、実施手段が効率的であったか比較検証を行い加点し評価します。

計画の実施状況は	予定を上回る(101%以上)	2点
	予定どおり(90%以上~100%以下)	1点
	予定を下回る(90%未満~)	0点

- ・計画の実施結果を項目ごとに加点評価し、合計を実施項目数で除したものを、事業・取組みの評価点(A)とする。
- ・指標が2つ以上の場合は、平均値(小数点第2位四捨五入)とする。

予算 効率	結果(対計画)A 予算の執行率 $b/a$	予定を下回る (0.0~0.9点)	予定どおり (1.0~1.7点)	予定を上回る (1.8~2点)
	予定以下(~90%未満)	3点	4点	5点
	予定どおり(90%以上~100%以下)	2点	3点	4点
	予定以上(101%以上)	1点	2点	3点

- ・取り組み結果に対し、予算が効率的に執行されているか評価し加点する。
- ・シート中の【予算決算額】の執行率( $b/a$ )と【実施結果・効果】の達成状況(A)に応じて加点する。
- ・予算執行がない場合は、予算の執行率を「予定どおり」とみなす。

作業 効率	結果(対計画)A 作業量(対計画) $I/A$	予定を下回る (0.0~0.9点)	予定どおり (1.0~1.7点)	予定を上回る (1.8~2点)
	予定以下(~90%未満)	3点	4点	5点
	予定どおり(90%以上~100%以下)	2点	3点	4点
	予定以上(101%以上)	1点	2点	3点

- ・予定した作業量に対し、効率的に取り組みが実施されたか評価し加点する。
- ・シート中の【時間・体制(人員)】の対目標( $I/A$ )と【実施結果・効果】の達成状況(A)に応じて加点する。
- ・作業量の目標設定がない、作業量評価できないものは、作業量を「予定どおり」とみなす。

効率性が低下したやむを得ない理由がある。	1点
----------------------	----

- ・外的要因等による効率性の低下は、通常の加点の他に1点加算する。

効率性総合評価		
9~10点	A	非常に高い
7~8点	B	高い
5~6点	C	普通
3~4点	D	低い
2点	E	非常に低い

- ・各項目の加点終了後、合計点で効率性を総合評価する。

- 有効性評価…新・マスタープランで設定した重点目標等を達成するために有効であったか、期待する結果・効果（成果）は得られたか比較検証を行い加点し評価します。

達成度 (D/B)	定量的なもの		定性的なもの
	5点	110%超	実施
	4点	101%以上～110%以下	—
	3点	90%以上～100%以下	一部実施
	2点	80%以上～89%以下	—
	1点	～80%未満	未実施

- ・達成度【評価指標】欄の達成度（D/B）に応じて加点する。
- ・指標が2つ以上の場合は、達成度の合算の平均値（小数点以下四捨五入）とする。

進捗度 (E/C)	5点	110%超
	4点	101%以上～110%以下
	3点	90%以上～100%以下
	2点	80%以上～89%以下
	1点	～80%未満

- ・進捗度【評価指標】欄の評価指標の進捗度（E/C）に応じて加点する。
- ・進捗度が評価できないものは1点とする。
- ・指標が2つ以上の場合は、進捗度の合算の平均値（小数点以下四捨五入）とする。

有効性が低下したやむを得ない理由がある。	1点
----------------------	----

- ・外的要因等による有効性の低下は、通常の加点の他に1点加算する。

有効性総合評価		
9～10点	A	非常に高い
7～8点	B	高い
5～6点	C	普通
3～4点	D	低い
2点	E	非常に低い

- ・各項目の加点終了後、合計点で効率性を総合評価する。

- 評価結果が見える化…評価終了後、集計表、レーダーチャート等で、結果が見える化する。

## 2. 2次評価・・・外部機関である水道事業経営審議会による評価

- 方向性評価…事業・取り組み単位で方向性について評価します。

評価基準	基準の持つ意味
拡充	今まで以上に力を入れて事業に取り組むことが適当
維持	今までどおり事業に取り組むことが適当
終了（完了）	事業・取組みは終了した。
改善・見直し	事業内容の改善や見直しを検討し取り組むことが適当
縮小	事業の取組み規模を縮小することが適当

- ・総合評価として方向性（優先性）を評価

一次評価結果集計表

施策	施策数	事業・取り組み	27年度								28年度								29年度													
			効率性				有効性				点数 合計①+②	評価点	効率性				有効性				点数 合計	評価点	効率性				有効性				点数 合計	評価点
			評価 結果	点数	合計①	評価点	評価 結果	点数	合計②	評価点			評価 結果	点数	合計①	評価点	評価 結果	点数	合計②	評価点			評価 結果	点数	合計①	評価点	評価 結果	点数	合計②	評価点		
I 水質管理の充実・強化	5	1 水源地水質の監視	C	50点	250.0点	500点	C	50点	250.0点	500点	500.0点	500点	500点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点					
		2 水安全計画の充実・適切な運用	C	50点		C	50点																									
		3 水質管理体制の強化	C	50点		C	50点																									
		4 新潟市独自の管理目標による水質管理	C	50点		C	50点																									
		5 分かりやすい水質情報の提供	C	50点		C	50点																									
II 給水装置における水質保持	3	1 学校施設の水飲み水栓の直結給水化	C	50点	150.0点	500点	C	50点	150.0点	500点	300.0点	500点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点						
		2 貯水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施	C	50点		C	50点																									
		3 指定給水装置工事事業者の技術力向上	C	50点		C	50点																									
III 水道施設の計画的更新	3	1 浄配水施設の計画的更新	C	50点	150.0点	500点	C	50点	150.0点	500点	300.0点	500点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点						
		2 管路施設の計画的更新	C	50点		C	50点																									
		3 鉛給水管の計画的更新	C	50点		C	50点																									
IV 震災対策・体制の強化	6	1 浄配水施設の計画的耐震化	B	70点	39.0点	65.0点	C	50点	26.0点	43.3点	65.0点	54.2点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点						
		2 管路施設の計画的耐震化	C	60点		C	60点																									
		3 重要施設向け配水管の耐震化	B	70点		D	40点																									
		4 配水管網のブロック化の推進	C	60点		C	50点																									
		5 大ブロック間の相互連絡管の整備	C	60点		D	40点																									
		6 事故・災害時における復旧体制の強化	B	70点		E	20点																									
V 経営基盤の強化	6	1 アセットマネジメントによる適正な資産管理	B	80点	30.0点	50.0点	C	60点	28.0点	46.7点	58.0点	48.3点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点						
		2 定員・給与の適正化	B	80点		C	60点																									
		3 業務効率化に向けた民間委託の検討・実施	C	50点		D	40点																									
		4 遊休資産の有効活用	D	40点		D	40点																									
		5 時代に即した料金制度等の検討・実施	D	30点		D	40点																									
		6 水道事業経営審議会の効果的運用	E	20点		E	40点																									
VI 積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	4	1 戦略的な広報の実施	B	80点	27.0点	67.5点	B	80点	24.0点	60.0点	51.0点	63.8点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点						
		2 お客さまの意見・要望の把握	B	70点		B	80点																									
		3 分かりやすい経営情報の開示	C	60点		D	40点																									
		4 放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供	C	60点		D	40点																									
VII 技術・知識を有する人材の確保と育成	2	1 人材育成と専門性の強化	B	80点	14.0点	70.0点	B	80点	13.0点	65.0点	27.0点	67.5点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点						
		2 諸外国との水道技術研究交流	C	60点		C	50点																									
VIII 環境に配慮した事業運営	2	1 建築副産物の再利用促進	B	80点	12.0点	60.0点	C	50点	9.0点	45.0点	21.0点	52.5点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点	0点	0.0点						
		2 水道局環境計画の策定と推進	D	40点		D	40点																									
合計	31	合計	合計	177.0点	462.5点	合計	155.0点	410.0点	332.0点	436.3点	合計	0.0点	0.0点	合計	0.0点	0.0点	合計	0.0点	0.0点	合計	0.0点	0.0点	合計	0.0点	0.0点	合計	0.0点	0.0点				

